

作曲家 久保摩耶子



(Foto: Erik-Jan Ouerwerk)

### 経歴

神戸生まれの久保摩耶子は幼少からピアノのレッスンを受け、大阪音楽大学ピアノ科を卒業後 1972 年ウィーンに留学する。ウィーン音楽大学では作曲、電子音楽をピアノの傍ら学ぶが、二年のちには作曲に専念するようになる。同時に大学受験資格を取り、ウィーン大学に入学、作曲科と平行して、音楽学と哲学を専攻。作曲はハウベンシュトック・ラマティーニに師事する。1980 年ウィーン音楽大学を卒業後ヘルムートラッヒェンマンに師事するため、ハノーバーに移住。1985 年からベルリンに拠点を移してヨーロッパ中心に作曲活動をする。1990 年から 4 年間イタリアに滞在。1995 年以降再びベルリンに定住。1990 年代から舞台作品に集中。独自の自由な発想を展開する。そのころから久保にとっては協和音の 3 度も路面電車のノイズも作曲のマテリアルであった。1996 年オーストリア、グラーツで初演された『羅生門』-グラーツ歌劇場とシタイアーの秋委嘱作品、1998 年再演-はキャリアの最高峰のひとつとも言える。「久保は日本文学とヨーロッパ音楽から得たマテリアを結びつける技法を確実に駆逐している」フランクヒルベルグ、西ドイツ放送現代音楽担当。2000 年に交響曲第一番をグラーツフィルハーモニー交響楽団で初演。京都市委嘱作品、交響曲第二番『再会』は故郷でのデビュー作品として京都交響楽団で初演。『羅生門』日本語による日生劇場東京初演(2002)は専門家、観衆の称賛をあび、日本で作曲家として名を広める土台となる。2005 年新国立オペラ劇場委嘱作品『おさん、心中天網島物語より』の初演テレビ、ラジオ、新聞などで高い評判を得て、日本中の話題とる。2008 年に発足させたヤコブ-ヤングアジア室内オーケストラベルリン-の芸術監督を務めるなど幅広く活躍。第 3 作目のオペラ『クモの糸』初演(2010)-ベルリンノイケルン区文化局委嘱作品-はベルリンに於いて青少年参加のジュニアオペラとして成功を収める。2011 年はベルリンアジア美術館の協力を得てアジア伝統楽器とヨーロッパ楽器による現代音楽「フォーカス」。近年は子供プロジェクトを手がけ、子供オペ

ラ、ミュージックシアターをベルリンの学校と共同制作。その一環として2014年久喜市清久小学校で日本初の子供によるオペラ「夢」を作曲、制作。2014年ザルツブルグ、モントゼー音楽祭のコンポザーインレジデンスに招待。2016年から「マゼルトフ・インターナショナル」シリーズをプロデュース。エキサイル音楽を紹介する。2017年には「三陸の歌」の上演に対し京都室内オーケストラが佐川賞を受賞、2017/18年ベルリン文化庁の奨学金受賞、パリ滞在。2019/20年ベルリン放送管弦楽団の招待作曲家に選ばれる。2020年ドイツ音楽作家賞にノミネートされ、また、ドイツGEDOK女性作曲家コンクールで1位を獲得。

## 作風

作品の傾向はクロスオーバー的なものから伝統的な交響曲まで幅が広い。例えば、バレエ、オペラ、シアターピース、ラジオドラマ、Jazzやインプロヴィゼーションも混じっている。純音楽的作品中では社会的テーマや文学的テーマを使用しているのが目立つ。「久保にとって閉鎖した音楽の世界というのは考えられない。彼女通俗的な聞き方を避けるために、伝統的音色をさけている。しかし作品によっては、反対に伝統的なマテリアルを好んで使用し、それを自分なりに加工したり、又、パロディーとして彼女の音色コンセプトを作り上げている。日本伝統音楽は彼女の作品には見ることはできない。しかし彼女の意識下ではそれを連想させるものがあるに違いない。特に弦楽器を使用した作品にそれが感じ取られる。」ニーケカイジンガー現代の作曲家辞典

## 職歴

ジャパンファウンデーションフェロー(1999)、ラインスベルグ音楽アカデミーレジデンス(2000)、ハンザ科学アカデミーフェロー(2002)、ヤドファウンデーションフェロー(2004-07)、ボイスコファウンデーションフェロー(2006)、ベルリン文化庁パリ滞在奨学金(2004、2017/18)、コンポザーインレジデンス：モントゼー音楽祭(2014)、ベルリン放送管弦楽団2019/20  
オーストリア、ドイツ、アメリカなど世界各地の音楽大学、文化研究所で現代音楽や作曲についてレクチャーをする。作品は主な音楽祭で取り上げられ、著名な指揮者、演奏家、コンサートホールから委嘱を受けている。ウィーン音楽祭、ドナウツシンゲン現代音楽祭、ウィーンモデルン、ビエンナーレベルリンムジクプロトコル、シュツットガルト放送交響楽団、南西ドイツ放送交響楽団、京都市交響楽団、クラングフォーラム、東京交響楽団、東京混声合唱団、グラーツ歌劇場、日生劇場、新国立劇場、指揮者：ペーターエトヴェシュ、シルビアンカンブレラン、ベトフラー、シュテファンラーノ、井上道義、大勝秀也、演奏者：ヘルベル

トヘンク、ユングヘーネル、マルチンムーメルター、ハーゲンカルテット、アウリーンカルテット、守屋剛志、山田岳、森川栄子

演出家：リンワイミン、栗国淳、マリーナヘルマン、渡辺和子

美術家：内倉ひとみ、アレキサンダークラウト

SR, RRB, BR, HR, ORF, NAR, Israel BC, NHK などラジオで作品の放送。

2007/2010 年 MDR(中央ドイツ放送局)と RBB(ラジオベルリン&ブランデンブルグ)

及び BR (バイエルン放送局), DF (ドイツ放送局), DFK (ドイツ文化放送局) で作品特集

番組の放送。日本では NHK テレビ及びラジオに出演。160 曲以上の楽譜は

ノイエムジク出版社、アリアドネ出版社、ブライトコプフ出版社

出版されている。

#### 主な業績 [抜粋]

1978—79 オーストリア政府文部省秀才奨学金受賞、

1979 フランスブルジュインターナショナル電子音楽コンクー入賞、

1980 ウィーン市音楽奨励賞交響曲『アラクノイデア』

1980—82 モーツアルテウム作曲コンクール審査員、

1980 ISCM イスラエル入賞合唱曲『ヨギ』初演、

1982 バレー組曲〔ウィーン音楽祭委嘱作品〕初演、

1982 アルバンベルク協会から奨励賞室内オペラ『沈黙』に対して、

1984 ISCM グラーツ『BACH—ヴァリエーション』入賞、

1984 ニーダーザクセン州作曲奨励賞〔シュライアン滞在〕、

1986 ピアノ協奏曲〔ドナウエッシンゲン音楽祭委嘱作品〕初演、

1986 ベルリン現代音楽協会〔Zeit Musik〕発足、88 まで同会会長、

1987 シンポジウム「20 世紀のピアノ作品の意義および影響」を企画、開催、

1987—89 ベルリンテンペルホフ音楽学校で作曲セミナー、

1989 ミュージックシアター作品ベルリン文化庁作曲奨励賞『モンタール 3 B』に対して、

1990 室内楽〔インヴェンション現代音楽祭委嘱作品〕初演、

1988—89 ベルリンウエディングシアターの音楽監督、

1991 ピアノ組曲『ベルリン日記』

〔ベルリンビエンナーレ音楽祭〕初演、

1992 室内楽〔ザールブリュッケン 20 世紀音楽祭〕委嘱、

1992 オスナブリュッククラングアート祭委嘱舞踏作品『十二単』

1992 ラジオテープ作品〔SFB, HR 共同委嘱作品〕放送、

1994 シンポジウム「音楽の環境への影響」をローマで企画開催。

1994 オーストリア文部省作曲奨励賞『エルンストヘルベック詩作品』に対して、  
1995 クラウプフォーラム 10 周年記念委嘱作品室内オーケストラ『いまこそは』  
1996 グラーツ歌劇場とシュタイアーの秋共同委嘱作品『羅生門』初演〔1996 再演〕、ムジク  
プロトコル委嘱作品室内オーケストラ『Yasuko—黒い雨から』ウィーンモデルンで再演  
1998—2000 ウィーン、ベルリン、ケルン、ハンブルグ、レーダヴィーデンプリュックなど各  
地で作品の個展演奏会、  
1999 日本国際交流基金のフェロー四ヶ月京都芸術大学客員研究員  
2000 グラーツフィルハーモニー五〇周年記念演奏会にて『交響曲第一番』初演、  
2000 京都市委嘱作品『交響曲第二番再会』初演、  
2000 ベルリン青少年室内アンサンブルの日本公演企画、訪問、丹波の秋、神戸などで演奏。  
2001 ラインスベルグミュージックアカデミー招待作曲家、  
2002 ハンザ科学コレージュのフェロー、  
2002 ラインスベルグミュージックアカデミー委嘱舞台作品『ヒペリオンの断章』初演、  
2002 オペラ『羅生門』日本語改訂版日本初演。  
2004 ベルリン文化庁よりパリ滞在奨学金受賞。  
2006 ボイヤスコファウンデーションのフェロー。  
2007 東京混声合唱団委嘱作品『焼け野』東京で初演。  
2009 ベルリンにて YACOB 創立記念音楽会。  
2010 ベルリン文化庁教育文化ファウンド助成プロダクション、オペラ『クモの糸』の初演、  
2011 「フォーカス」アジア伝統楽器と含む現代音楽シリーズをプロデュース。  
2014 ザルツブルグ、モントゼー音楽祭コンポーザーインレジデンス  
2014 子供オペラ「夢」久喜市清久小学校初演  
2015 シンポジウム「子供芸術教育～日本とドイツの比較」東京ドイツ文化会館、企画、開催  
2017 佐川賞、「三陸の歌」の上演に対し京都室内オーケストラが受賞  
2017/18 ベルリン文化庁からパリ滞在奨学金  
2018 ベルリン文化庁、合唱曲「雪」合唱作曲賞  
2019/20 ベルリン放送管弦楽団コンポーザーインレジデンス  
2020 ドイツ音楽作家賞ノミネート  
2020 ドイツ GEDOK 女性作曲家コンクール 1 位

[www.mayakokubo.de](http://www.mayakokubo.de)